

連合岩手釜石・遠野地協

NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協議会

NEWS LETTER

第54号 発行人 今野 徹

編集人 菊池利行

2026年8月28日

2026

平和行動

県内3コースのキャラバン

釜石・遠野地協 集会・行進で平和を訴え

連合岩手は2026年7月27日～30日に平和行動を実施、内陸・沿岸北・沿岸南の3コースで平和集会・行進を実施しました。釜石・遠野地協でも、7月28日に釜石、29日に遠野で平和集会を実施しました。集会には「高校平和大使」から平和への願いと署名の呼びかけがありました。

釜石地区では、釜石のTETTO前広場で17時30分から「釜石地区平和集会」を開催、約90名が参加しました。集会では、主催者を代表して釜石・遠野地協の

今野議長が挨拶、すべての生活の前提となる平和を守る運動に結集し、行動しようと訴えました。次に、県平和実行委員会を代表して中村大県実行委員会事務局次長が挨拶

を、世界情勢が流動的な中、沖縄や広島、長崎に思いを寄せ、核のない世界、平和を考える夏にしようと呼びかけました。次に集会にかけつけていただいた三浦一泰市議から、一人ひとりの行動と繋がりがこそ大事という、連帯の挨拶がありました。その後、高校平和大使を代表とて古舘大和さん（釜石高校一年）から活動の報告と平和への連帯のメッセージ紹介がありました。引き続き集会アピール採択を行い、集会後は釜

石イオン店入口から大通りを雨の中、デモ行進をして平和を訴えました。

遠野では、遠野教育児童会館で18時00分から「平和集会」を開催、約60名が参加しました。

集会では、主催者を代表して平和運動実行委員会委員長の湊恵幸氏があいさつ。ロシアのクライナ侵攻と原爆の使用をほのめかす姿勢を強く批判し、ザマヤラン・ホルムズ海峡の惨状を憂いながら

弛まない行動で平和を守ろうと訴えました。続いて、伊藤宣夫さんから、当時広島で被爆したことの体験や平和を訴え続けることの大切さ、被爆体験をまとめた紙芝居の活用のお話がありました。

「戦争は人殺しです。絶対にやってはいけません。」という心からの叫びが、会場に今年もこだましました。

引き続き集会アピール採択を行い、集会中に降り出した雨が急に強くなり、残念ながら平和行進は中止になりました。

戦後81年のこの時、当時を語ってくださる方々も少なくなってきたいます。高校平和大使からの呼びかけは、「つなぐ意味」を多くの参加者に考えるヒントとなりました。

今年も連合岩手の平和行動に1名を派遣することができました。

奥寺貴大さん（岩教組南リアス支部）が広島に行ってきました。後日、報告会が予定されています。お楽しみに。



上から今野実行委員長の挨拶・TETTO前広場での集会・高校大使による署名行動・伊藤さんからのメッセージ